

<若手職員検討チームからの提案テーマの紹介>

○ ひと・こころはぐくみやこども愛ランド構想～ひとのこころが寄りあうまち・子どもを愛するまち～

【チーム員からの紹介】

「子ども・子育てはおもしろい！」

そんな感覚をたくさんの人に持ってもらいたいと思い提案しました。

これから出産、子育てを考える人は、子育ては大変というイメージから、なかなか一歩踏み出せないのかもしれませんが。今、子育てをしている人は、子連れで買い物や病院へ行くのも大変だ、子どもを遊ばせるだけでも一苦勞など、様々な不便を感じたり、誰かの手を借りたいと思うこともあるかもしれません。

子育てしやすいまちを作り、多くの人に「子育てするなら京都がいいな」と思ってもらえるようなアイデアを考えました。

○ 周辺地域の未来像

【チーム員からの紹介】

例えば平日はまちなかで暮らし、週末だけ周辺の違う魅力のあるところで暮らすという住まい方でより豊かに暮らせるかもしれません。

人口減少が進むと、それぞれの町を維持することが難しくなっていきます。多様な暮らし方が推進されれば、周辺地域が抱える人口減少や空き家問題の解決にもなるのではないのでしょうか。

山間部や郊外住宅地などの周辺地域は、まちなかからそれほど遠くなくゆとりがある、京都市ならではの環境です。それを活かし、豊かに暮らすための選択肢を増やすという観点から、周辺地域の未来を考えました。

○ ほんまものの京都！魅力発信プロジェクト～京都への移住・定住PR戦略～

【チーム員からの紹介】

「魅力と活力あふれるまち京都」を目標としてテーマを設定しました。

歴史・伝統文化のある自然豊かな都として全国有数の観光地である「京都」。しかし、「暮らすまち」としての魅力のPRや移住希望者への支援は十分とはいえません。

「京都で生きる！ (=Live in Kyoto!)」を合言葉に、京都の魅力を体験できる観光の促進や移住希望者への支援、さらには京都に暮らす人たちの京都への愛着を深める取組など、人が人を呼ぶ魅力と活力あふれるまち京都を実現する方策を考えました。

○ 若者の夢を“つなぐ”・“はぐくむ”・“かなえる”プロジェクト～若者がいきいきと働けるまちづくり～

【チーム員からの紹介】

京都のまちが活力を持ち続けるためには、若者がいきいきと活躍し、経済をけん引していくことが重要です。

京都は、多くの学生、大学、優れた技術を持つ中小・大企業、伝統技術といった強みを持ち、それらをうまく繋ぎ生かすことで、若者がビジネスにおいて夢を持ち実現できるまちとなる「力」を持っています。起業や中小企業の成長けん引、伝統技術を生かした新事業展開など、若者が躍動するまちづくりを考えました。